

【別紙2】■新防災行政無線システムに求める要求水準機能及び仕様一覧

秋田県大潟村

機能一覧								
大項番	機能分類	中項番	機能	小項番	概要	備考		
1	親局設備	1	一般事項	1	60MHz帯QPSK方式(ARIB規格STD-T115準拠)を利用し、同報無線システムとして利用できること。			
				2	親局は常時商用電源で動作し、停電時においては既設の発動発電機が安定して動作するまでの間、各機器が支障なく動作できるよう停電保障時間を確保すること。			
				3	将来の子局の増設にも対応できること。			
				4	親局から村内各所に設置される子局ならびに戸別受信機に対して、同報通報ができること。			
		2	機能及び仕様	1	機能及び仕様	1	通報その他操作は機械式スイッチ若しくはタッチパネル操作ディスプレイで行えること。	
						2	視認性や操作性に優れた画面構成とすること。	
						3	全ての通報・通話・装置の操作中であっても、全ての子局ならびに戸別受信機に対し、最大音量で拡声放送ができること。(緊急一斉通報)	
						4	子局ごとに設定した音量で、全ての子局に対する通報ができること。(一斉通報)	
						5	任意に選択した子局ならびに戸別受信機、任意に選択した複数の子局ならびに戸別受信機への通報ができること。(個別通報)	
						6	一斉放送で、子局単位で通報に時間差を設ける一斉通報ができること。(時差通報)	
						7	通報音源として、外部入力による録音、電子サイレン、チャイム、ミュージックチャイム等、親局設備に登録した音源を使用できること。	
						8	音声合成装置を搭載し、テキスト入力したものを通報用の音源として生成が可能なこと。	
						9	親局空中線は寒冷地でも支障なく稼働することが可能なこと。	
						10	親局空中線は積雪の影響を考慮し支障なく稼働することが可能なこと。	
		3	自動通報	1	自動通報	1	J-ALERTによる災害情報受信時には、大潟村に該当の内容を自動的に「緊急一斉通報」にて行うこと。	
						2	消防本部からの火災情報受信時には、その内容を防災行政無線で放送を自動的に行うこと。	別システム使用して実現も可
						3	消防本部からの火災情報受信時には、その内容を多層連携先であるLINE、Yahoo!防災速報、ホームページ、登録制メール等に配信できること。	別システム使用して実現も可
		4	プログラム通報	1	プログラム通報	1	通信担当者の操作に依らず、事前に登録した手順で自動的に通報する機能を有すること。	
						2	予め録音・登録した音源を選択及び組み合わせ、時差通報機能を併用し通報する機能を有すること。	
						3	通報開始及び期間設定は、月日、毎日、曜日、時分を設定できること。	
						4	プログラムの設定及び確認が容易にできること。	
						5	作成したプログラムは、登録内容を一覧表として確認できること。	
						6	プログラムの内容及び予約状況を確認できること。また、選択し試聴できること。	
						7	自動通報時に「通報中」表示ができること。	
		5	時刻補正	1	電波時計やラジオ等による時刻の自動修正ができること。			
		6	通信記録機能	1	通信記録機能	1	操作卓は、通報の種別、選択呼出し種別、監視内容を自動的に通信季節部に蓄積し履歴として一元管理できること。	
						2	通報履歴はディスプレイ上で確認できること。	
						3	通報の種別、選択呼出し種別、通報年月日、通報開始、終了時間等が印字できること。	
		7	自動電子サイレン送出機能	1	自動電子サイレン送出機能	1	ディスプレイ上の送出キーを操作することにより、予め定められたサイレン吹鳴形式にしたがって子局の電子サイレン音電を再生制御及び強制停止制御できること。	
						2	電子サイレン吹鳴は緊急一斉、一斉、グループ、戸別の選択ができること。	
3	電子サイレンの繰り返し回数は10回以上で、パターンごとに任意の回数設定ができること。							
8	J-ALERT接続機能	1	J-ALERT接続機能	1	J-ALERT自動起動装置からの起動信号を受信し、緊急一斉通報ができること。			
				2	手動によりJ-ALERTの自動起動を停止することができること。			
9	外部入出力機能	1	外部入出力機能	1	外部機器との接続を想定し、各種音声入出力端子を有していること。			
				2	パトランプと接続が可能なこと。			

【別紙2】■新防災行政無線システムに求める要求水準機能及び仕様一覧

秋田県大潟村

機能一覧						
大項番	機能分類	中項番	機能	小項番	概要	備考
2	J-ALERT自動起動装置	1	機能及び仕様	1	J-ALERT受信機と接続し、緊急一斉通報ができること。	
3	無線送受信装置	1	機能及び仕様	1	60MHz帯QPSK方式(ARIB規格STD-T115準拠)を利用し、同報無線システムとして利用できること。	
				2	無線部はそれぞれ現用・予備の2台を備えており、障害が発生した場合は自動的に予備系に切替えること。	
4	ASP	2	多層連携	1	本システムでは、多層連携の種類として下記を有すること。	
				1.1	インターネットを利用し、登録されたメールアドレスへの配信	
				1.2	情報サイト(自治体ホームページ)への配信	
				1.3	NTTドコモが提供するエリアメール、並びにau、ソフトバンク、楽天モバイルが提供する緊急速報メールによる配信	
				1.4	LINEヤフー株式会社が提供するLINEへの連携配信	
				1.5	LINEヤフー株式会社が提供するYahoo!防災速報アプリへの連携配信	
				1.6	J-ALERT情報の配信	
				1.7	テレフォンサービスへの情報登録と提供	
				2	管理者は上記の配信手段及び配信方法を任意に選択し、場合によっては全てを選択して同時一斉に実行して情報を配信できること。	
				3	緊急速報メールは、携帯キャリア4社に対して同時一斉に配信できること。	
				4	任意に登録した大潟村村民において緊急速報メールを受信することが可能な携帯端末を所持している者、及び管理者によって登録された大潟村の職員等に情報を配信できること。	
				5	管理者により受信登録者のメールアドレスを登録・解除できること。	
				6	受信登録されている受信者情報は、CSVファイル又はエクセルファイルに出力できること。	
				7	受信者は、登録の際に、若しくは登録内容を変更する際に、携帯電話を使って配信を希望する情報の種別や配信対象地域等を任意に選択、並びに、変更することができること。	
				8	受信者が情報を受信したか否かについて管理者が確認することができる機能を有すること。	
		3	音声合成	1	電話や屋外スピーカから住民が情報を用意に聞き取ることができる必要があるため、人間の声(肉声)に非常に近い音声を生成する能力があること。	※ASPの音声合成を利用する場合
				2	防災危機管理情報に特化した音声データを組み込み、本業務に最適な情報を合成音声に変換できること。	※ASPの音声合成を利用する場合
				3	防災行政無線放送など危機管理用途での採用実績があること。	※ASPの音声合成を利用する場合
				4	管理者が操作画面上で音声の調整をする際に、簡易で操作しやすく分かりやすい画面構成であること。	※ASPの音声合成を利用する場合
				5	地域固有の地名やランドマークなどの読みの整備を行い、読み間違えないようにすること。	※ASPの音声合成を利用する場合
		4	運用・管理	1	ログインアカウントは複数作成できること。	※ASPの音声合成を利用する場合
				1.1	ログインアカウントには、配信情報や配信先を限定できる機能を有すること。	
				2	システムの運用時間は、24時間365日とする。メンテナンス等で運用を停止する場合には、事前に停止時間を担当者に申し出ること。	
				3	システムの運用サーバーは、物理的に冗長化されていること。	
				4	不都合が発生した場合は、待機サーバーに切替わり、滞りなく運用が進められること。	
				5	サーバーのセキュリティの強化に必要な措置(不正アクセスやスパムメールに対する措置)を適時対処すること。	
				6	障害を検知してから速やかに担当者に報告するとともに、システムの復旧に迅速な対応を行うこと。	
				7	システム操作の際、担当者の求めに対し、適切に助言を行えること(ただし、休日、夜間を除く)。	
5	メールサーバ	1	機能及び仕様	1	J-ALERT情報を受信したとき、本機を起点としてASPへの連携を安定して行うことができること。	※メールサーバ必要時とする
				2	ソフトウェアは国内メーカが製造販売し、かつ日本語での設定画面であること。	※メールサーバ必要時とする
				3	仮想環境で利用できる仮想アプライアンス製品とすること。	※メールサーバ必要時とする
6	ネットワーク装置	1	機能及び仕様	1	ファイヤーウォール、ルータ、L2スイッチ等で構成され、インターネットを経由したASPサービスの使用に伴い安全で安定した通信環境を構築すること。	

【別紙2】■新防災行政無線システムに求める要求水準機能及び仕様一覧

秋田県大湯村

機能一覧							
大項番	機能分類	中項番	機能	小項番	概要	備考	
7	電源装置	1	機能及び仕様	1	直流電源装置は機械室内に設置し、J-ALERT自動起動装置等の停電保障を行うこと。		
				2	直流電源装置の入力電圧は単相AC100V(±10%)であること。		
				3	直流電源装置の停電保障時間は1時間程度とすること。		
7	電源装置	1	機能及び仕様	4	無停電電源装置(UPS)の停電保障時間は10分程度とすること。		
8	J-ALERT受信設備	1	機能及び仕様	1	J-ALERT受信機は、JARS-3000と同等以上の性能を有すること。		
				2	表示PCは、災害情報ごとに表題、配信内容等配信情報をあらかじめ設定でき、J-ALERT受信機の状態を監視し異常検出時には画面等に表示できること。		
				3	ネットワーク監視表示灯として、災害情報受信時等に点灯・点滅するパトライト等を設けること。		
				4	J-ALERTシステム更新にあたり、庁舎ネットワークの設定変更等が発生する場合は、現在の保守業者と調整のうえ対応すること。		
10	屋外拡声子局装置	1	機能及び仕様	1	本装置は、60MH帯QPSK方式(ARIB規格STD-T115準拠)を利用し、同報無線システムとして運用できること。		
				2	本装置は、無線送受信装置、音声増幅部及び制御部等を実装し、親局からの「通報の種別」及び「選択呼出し種別」の制御を受けて、通報音声をスピーカで拡声できること。		
				3	子局は常時商用電源で動作し、停電時においては各機器が支障なく動作できるよう蓄電池を具備し、48時間以上の停電保証時間を確保すること。		
				3	屋外に設置する機器として、筐体は防水型キャビネットを採用すること。		
				4	手元操作盤に内蔵したマイクロホンより自局通報(操作している子局のみの拡声通報)ができること。ただし、自局通報中であっても親局、副局からの制御信号を受信した場合は、優先的に親局からの通報に切替わること。		
				5	スイッチ操作により上り・下りのチャイム及び電子サイレン吹鳴ができること。		
		6		一斉通報及びグループ通報で、子局単位で通報に時間差を設ける機能として時差通報機能を具備すること。			
		2		操作盤	1	本装置は、空中線柱に装柱され屋外拡声子局装置と接続される屋外設置用の機器で、本装置から自局通報ができること。	
		2		操作盤	2	ハンドマイクで自局通報、チャイム(上り・下り)及び電子サイレンの通報ができること。	
		2		操作盤	3	屋外に設置する機器として、防水型キャビネットを採用すること。	
11	戸別受信機	1	機能及び仕様	1	本装置は、60MH帯QPSK方式(ARIB規格STD-T115準拠)を利用し、同報無線システムとして運用できること。		
				2	屋内用の壁掛、卓上、携帯兼用の受信機で、親局設備からの放送を受信し内蔵のスピーカーにてモニターができること。		
				3	緊急一括放送、一括放送、グループ放送、個別放送に対応できること。		
				4	緊急一括放送を受信した時は、戸別受信機の音量ボリュームの位置に係わらず、最大音量で放送すること。		
				5	録音再生機能を搭載し、新しい放送が録音されている場合は、ライトの点灯等により通知できること。		
				6	必要に応じて戸別受信機用ダイポールアンテナを宅内配線により設置可能な構造であること。		
				7	緊急一括放送、一括放送、グループ放送、個別放送に対応できること。		